

さらに考えましょう

あなたは、子供が困ったことをした時に、どんな対応をしていますか。  
あてはまると思われるものに、○をしましょう。

1	注意をそらす。
2	取り合わない。
3	気持ちが静まるように、抱きしめる。
4	気持ちを聞いてみる。
5	少しでもできたらほめる。
6	納得するまで話して聞かせる。
7	自分のしていることがどういう結果になるかわからせる。
8	良い手本を示す。
9	何が原因なのかを親自身が考えてみる。
10	ルールをつくる。
11	まわりの環境を工夫する。
12	その他

\*これらは様々な対応の一部で、対応の全てではありません。

学習を振り返りましょう

自分の中で、分かったこと、考えが変わったことがあれば、書いてみましょう。

お問合せ：〒730-0052 広島市中区千田町三丁目7-47 広島県立生涯学習センター  
TEL：082-248-8848 FAX：082-248-8840 E-mail：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp

教材番号  
10

「親の力」をまなびあう学習プログラム  
「過ぎてしまえば一番幸せ」期（子育て前期）  
「クタクタでもワッハッハ」編

年 月 日（ ）



寄って話して  
自ら気づく

「親の力」をまなびあう学習プログラム

買って買って!!

～さあ困った！あなたなら～



幼児期は自我の芽生えの時期。自己主張も激しくなり、なんでもかんでも自分でしたがるようになります。行動範囲も広がり、親は気が抜けません。「危ない！」「またやっちゃったの！」「いいかげんにしなさい！」…追いかけて、怒鳴ってばかりで、気がついたらクタクタになっていませんか？

しつ前はきちんとしながらも、ゆっくり、ゆったり、余裕を持って…そんな方法を探してみましょう。

広島県教育委員会

## エピソードを読みましょう



夕方、お母さんと3歳のサトシくんはスーパーにやってきました。夕食の準備に取りかかろうと思ったお母さんは、足りない材料があることに気づき、サトシくんと一緒に買い物に来たのです。お母さんは、求める商品が置いてあるコーナーに急いで行きました。

サトシくんは、大好きなキャラクターのおまけが付いたお菓子を見つけ、それを持ってお母さんところへ行き、「買ってよ〜、買ってよ〜」とねだっています。



タ  
ー  
ん  
の  
ま  
す。

## 考えましょう

① あなたは、エピソードを読んでどんなことを感じましたか。

② なぜこのような状況になったと思いますか。

③ あなたなら、このような時にどのような対応をしますか。

## 考えましょう、出し合ひましょう

子供が困ったことをした時に、どんな対応をすればよいか考えてみましょう。

困ったこと	原因 【どうしてそうなったのかな】	対応 【どうしたらいいのかな】
例：ぐずる	例：ねむい	例：十分に昼寝をさせる

## 参考資料 「日ごろの生活であること」

